



# 新聞まさひこ通信

## あけぼの曙

発行責任者  
福岡県議会議員  
新開昌彦  
福岡市早良区曙 2-1-35

Vol.40 平成 20 年 7 月 17 日発行

## 議会報告

4 月 14 日西新校区で殺人事件が起きました。私は、住民の安全を守るために取組んでいる地域団体に行行政や警察がどうサポートするのかを質問しました。

### 【新開】個人情報保護法の過剰反応に対処

個人情報保護法の正しい説明がなされていないために、市町村や地域、学校に至るまで個人情報に対して過剰反応をしている。

法は、「生命財産を守るためにはその限りではない」と定めている。

知事の個人情報の取り扱いについての認識とその取組みを問う。



©NEW KOMETTO

### 【知事】

個人にとっては、個人情報の保護は最も大事。半面、個人は、社会的な存在でもある。行政や地域が、高齢者の見守り運動など地域福祉の向上、安全、災害などのために対応ができなければ過剰反応していることになる。

県では、高齢者の見守り事業を市町村と地域が一体となっで行えるよう個人情報の正しい取り扱いについても協議会の中で検討実施する。

### 【教育長】

緊急の場合は、学校現場が備えている原簿を使用して連絡できる。

### 【新開】「ふっけい安心メール」に即応性を

4 月 14 日午後 7 時頃 22 歳の男が路上で女性を刃物で刺して死亡させ、一旦は民間人が捕まえたが、逃走したという凶悪な事件が発生。

福岡県警は「ふっけい安心メール」で、登録者に対し日々警鐘を鳴らしているが、今回の事件のメールの配信は、翌日の午前 6 時。事件発生からメール配信まで半日が経過。メールの特性が生かされていない。

### メールの配信が遅すぎる。

警察は、メール機能の有効性を再認識し即応できる体制をとるべき。

### 【警察本部長】

「ふっけい安心メール」の即応性について、速やかな情報配信ができるよう体制をとって参る。



平成 17 年 12 月から配信開始

登録者数約 39,000 件

<http://www.police.pref.fukuoka.jp/>

平成16年10月、17年6月の二度、議会で提案し、実現しました。

# 第5回新聞まさひこ県政報告会

## 安全で安心な街に！

初めに、アロマセラピストの高橋真紀さんから、「家庭でできるアロマセラピー」と題して香りの効能を紹介。会場が爽やかな空気に包まれました。

続いて新聞昌彦から、当選三期目の一年間、現場主義に徹してきた実績を報告しました。



特に地域の安心安全について具体的に紹介しました。

本年 4 月 4 年間訴え続けた「安心安全まちづくり条例」が施行。その経緯や警察メール、防災メールまもるくん、青色防犯パトカーの普及、青色防犯灯の視察など報告。また、ジェネリック薬品の普及にも貢献したことを報告しました。

質疑応答のあと林会長から一緒に地域のために頑張ろうと激励をいただきました。

私は、校区の住民として地域のために全力で頑張ります。

5月31日土曜日 午後7時から、西新公民館で新聞まさひこ県政報告会を開催いたしました。

ご多忙の中、林曉男西新校区自治協議会長、内田重光同事務局長をはじめ多くの地域の方々にご出席いただきました。



## 西新校区自主防災・防犯協議会が発足

6月4日付毎日新聞に掲載

6月3日午後7時から西新公民館で西新校区自主防災・防犯協議会が発足しました。

発足式には、荒瀬泰子早良区長、長隆博早良警察署長が出席。

私は、会の顧問に就任しました。

内田重光会長から「地域の安全を行政、警察、地域が一体となった取組ができるよう頑張りたい」と決意がありました。私も頑張ります。



顧問として挨拶をいたしました

